

24年2月1日

No.99



発行

練馬西青色申告会

ねりま西

青色だより

〒178-0063 東京都練馬区東大泉4-16-3 電話 5387-6211 FAX 5387-6222



練馬西青色申告会 会長 青木 泉

新年のご挨拶

皆様穏やかな新春をお迎えのことと存じます。

会員の皆様には、常日頃より青色申告会活動並びに税務行政に対する

暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、当会が皆様にお願いを致しました東日本大震災復興義援金募集の際には、関係各位から多額のお気持ちを賜りましたこと、心から御礼を申し上げます。

ここで申すべき事ではないのかも知れませんが、東京青色申告会四十八会中四番目の募集金額をもちまして、東京青色申告会連合会を通じ日本赤十字社に送付できました事、ご報告申し上げます。

さて、当会は昨年同様に本年も青色申告制度普及と会勢拡大の基盤を

謹賀新年

練馬西青色申告会



練馬西税務署長 四戸 智

新年のご挨拶

新年あけましておめでとございます。

平成二十四年の年頭に当たり、練馬西青色申告会会員の皆様には、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

青木会長をはじめ役員並びに会員の皆様には、税務行政の円滑な運営に対し、深い御理解と多大なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、青色申告制度の普及・育成を通じて納税道義の高揚に熱心に取り組んでこられるとともに、「国税電子申告・納税システム(e-Tax)」の利用促進にも積極的に御協力いただいております。心から感謝申し上げます。

また、東日本大震災の被災地に対する義援金の募集などにも献身的に

固め、皆様の青色申告会としてお役に立つべく、役員一同清新の気持ちを引き締めてまいります。

本来であれば会員増強の願いや、電子申告の普及に血眼になっている事など等々のお願いが沢山ございますが又の機会に致します。

本年も練馬西税務署の四戸署長をはじめとする国税当局、関係諸団体のご指導、ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

河の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず。 年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず。

東日本大震災で多くの鎮魂歌が流れました。私は今まで日本の国は文化国家であるからして、国を挙げての震災復興支援が行われるものと信じておりました。しかし、日本の国はまだまだ文化国家とは程遠い国である事を知りました。

事ここで細かいことは申し上げませんが、被災者皆様が一日も早く立ち直れますよう皆様と共にご祈念申し上げたいと存じます。

文句を言えざりが無い、歩かなくては前に進まない。 今年も、練馬西青色申告会は皆様と共に前に向かって歩いてまいります。

取り組まれておられ、皆様方の真摯な御活動に対し深く敬意を表する次第でございます。本年も引き続き活発な事業活動を展開され、申告納税制度の発展に御尽力されますことを、衷心より御期待申し上げます。

さて、今日の税務行政を取り巻く環境は、経済取引の国際化・広域化・高度情報化など社会状況の変化に伴い調査・徴収事務が複雑困難化する一方、職員の定員増加は見込めないなど、大変厳しいものとなっております。このような状況下、私ども税務行政に携わるものとしていたしましては、昨年発生した東日本大震災に対しましても震災特例法に基づく税負担の軽減措置を講じるなど社会の要請に対応しつつ、事務の効率化を図りながら申告納税制度を支えるべく、「適正かつ公平な課税の実現」と「納税環境の整備」という国民の負託にこたえて、邁進して参る所存でございます。

まもなく平成二十三年分の所得税、消費税及び贈与税の確定申告の時期を迎えます。

練馬西青色申告会の皆様方には、どうか、今後とも引き続き、税務行政に対しまして御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、練馬西青色申告会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御事業の御繁栄を心から祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。